



大森六中だより

令和元年 10月

大田区立大森第六中学校

校長 松尾 廣文

TEL 3726-7155

朝礼「秋もはや」

9月30日



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

明日から10月。秋が深まる季節になるうとしています。

永井龍男の「胡桃割り」という短編小説の中に、次のような高浜虚子の俳句が紹介されています。

「秋もはや熱き紅茶にビスケット」

季節の移ろいを感じる句だなと思います。

しかし、余談ですがこの句が永井龍男の作品で紹介され有名になっているにも関わらず、高浜虚子の全集、作品集に載っていないことは、実に謎めています。

この季節になると、この句を思い浮かべてしまうのですが、実は、私は紅茶よりは、専ら珈琲を嗜好する方で、アイスからホットへと変わるのもこの時期です。

皆さんは珈琲を飲んだりしますか？カフェインが入っているので、子どもの飲み過ぎは要注意です。1, 2年生は珈琲牛乳あたりが無難かなとも思います。

私は、先ほど言いましたように、珈琲が好きなので、家にいる時は、一日何杯かは、飲んでいきます。

街でも、チェーン展開をしている喫茶店を多数見ることができ、本校も職場体験で受け入れて貰っています。我々の生活の中に、珈琲は深く根ざしていると思います。

そこで、ちょっと気になる記事を8月下旬、愛媛の地方紙で読みました。将来、珈琲が贅沢品になるかも知れないという内容です。

珈琲豆の原産地というと、南米や東南アジアが有名ですが、地球温暖化により、栽培に適さない気候に変わり、いずれ価格が高騰する恐れがあるということです。更に、新興国での需要が伸び、買い占めが行われると、一層の拍車がかかってしまうということです。珈琲の2050年問題と呼ばれています。

持続可能な生産を目指し、世界の珈琲関連企業は、温暖化や害虫に強い品種作りに取り組んでいるということですが、根本的な解決は温暖化防止への対策ということになると考えます。

9月の台風被害も、千葉を含め、大きな傷跡を残しました。気候変動と台風の増加、強大化を昨年本校で講演して頂いた気象キャスターの岩谷忠幸氏も心配されていました。

先週、米ニューヨークの国連で地球温暖化対策の加速を目指したサミットが開催されました。

スウェーデンの16歳の環境活動家グレタ・トゥンベリさんは、国連の会場で各国代表に「私たちを見捨てる道を選ぶなら、絶対に許さない。」と演説をしたということです。

もうすぐ学校の生け垣の金木犀も香る頃です。洗足池の木々も色づき始めます。紅葉の美しい色彩が、池を彩る季節です。

美しい日本の四季の移ろいが、これからも変わらぬよう、ユネスコスクールに学ぶ若い皆さんは、SDGsに目を向けてくれればと思います。

2020東京大会 ブラジルを応援しよう！！

第2学年サンバ講習会

10月9日(水)、サンバの本場ブラジルで長年サンバのダンサーとして活躍されていらっしゃる三由翼さんと山口宏美さんを講師にお迎えし、サンバを体験しました。「サンバには、確実な正解がない」「サンバのルーツはアフリカにあり、歌や踊りがコミュニケーションツールであった」「カーニバルは壮大なオペラのようなものであり、パレード一つ一つにテーマがある」なども教えていただきました。基本ステップその1に始まり、少しずつレベルアップし、体育館は熱気に溢れ、最後は“SALGUEIRO”のリズムに乗って“期待と希望”の世界を作り上げることができました。



基本ステップにチャレンジ



「幸せ探しの旅に出よう！」



“最高に楽しかったー！！”

よりよい集団をつくるために

後期生徒総会

10月4日の金曜日に、後期生徒総会が行われました。前期の活動報告、後期生徒会役員と専門委員の任命式、後期活動方針・計画の発表、質疑応答と続きました。活発に意見が出され、学校生活をより良くするための貴重な時間となりました。



生徒会長挨拶



後期生徒会役員任命



質疑応答

一つ一つの積み重ねが信用を作る

第2学年社会科見学

第2学年は、10月10日の木曜日、午前中に上級学校訪問による進路学習、午後には防災館での体験による防災学習を行いました。自分の目と耳と心での学びは、来年度の進路選択、並びに避難所開設訓練にきっと役立つことでしょう。一人一人が大森第六中学校の看板を背負っているという意識で終日過ごすことができたでしょうか。



高校に飾られた優勝トロフィー



高校の室内練習場



震度7の地震体験

六中の代表として活躍しました

大田区中学校 陸上競技選手権大会

9月13日の金曜日に、大田区陸上競技選手権大会が開催され、本校の代表生徒が参加しました。代表生徒は夏休みから練習を重ねており、当日は3年生を中心に、競技も応援も一丸となって取り組みました。



女子 1・2年走り幅跳び



2年女子 4×100mリレー



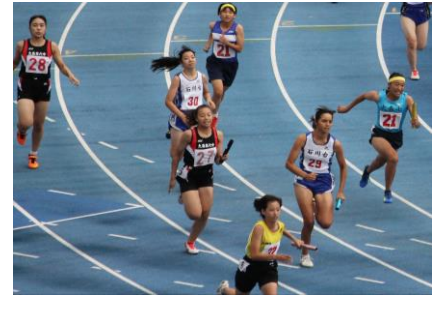
3年男子 3000m



2年男子 1500m走



女子1・2年砲丸投げ



共通女子 4×100mリレー

<入賞者一覧>

男子

・共通 800m	第6位	福田 周平	記録	2分14秒30
・共通 800m	第7位	杉山 力輝	記録	2分14秒40

女子

・1年 100m	第5位	中村 莉乃	記録	14秒63
・3年 100m	第3位	井上 聖花	記録	13秒70
・2年 800m	第1位	宇都野美玖	記録	2分29秒75
・3年 800m	第6位	加能 咲良	記録	2分38秒09
・1、2年 走り幅跳び	第3位	平山 芽李	記録	4m27cm
・1、2年 砲丸投げ	第6位	福田 愛菜	記録	8m10cm

・1年 4×100m	第4位	樫井 葉里 平山 芽李 福田 愛菜 宇都野美玖	記録	56秒29
------------	-----	----------------------------------	----	-------

・2年 4×100m	第3位	井上 聖花 峯岸 心愛 加能 咲良 谷 理帆	記録	55秒33
------------	-----	---------------------------------	----	-------

持続可能な社会の担い手づくり

大森第六中学校研修ユネスコ委員会

18色の緑づくり交流会

10月6日(日)池上会館にて、大田区18色の緑づくり交流会がありました。農援隊長 桑島さん、副隊長 千葉さん(3年) 同様に副隊長 福田さん(2年)が本校の取組について、発表しました。大田区の地区ごとに花植で環境を整備している方々の発表後、ボラピーが登場して会場がぱっと明るくなり、笑顔のあふれる雰囲気になりました。講師の方に、「地域のために行うことが地球のためになっているという言葉が印象的でした。

SDGsについて中学生に教わりましたね」と、評価をいただきました。



校庭にハートの芝桜

今年も350苗の芝桜をいただき、ハート型の芝桜が植まりました。雑草でうっそうとしていた花壇を刈り取るところからの作業でしたが、あっという間にきれいになりました。春には真っ赤なハート型の芝桜を楽しみにしてください。



大岡山フェスティバルで募金活動

毎年大岡山フェスティバルで行う被災地向けの募金では、花壇で育てたラベンダーを摘み取り、その実でサシェ(匂い袋)をつくります。大勢のボランティアが集まり、300個ほどのサシェができあがりました。

10月13日(日)に予定していましたが、当日は台風19号が日本に上陸し、日本各地で川が氾濫し、多くの方がなくなる甚大な被害をもたらしました。フェスティバルは14日に延期し、25名の農援隊が集まり、小雨の降る中、被災地に向けて募金活動を行いました。前日の被災地報道があったため、多くの方が募金に協力していただき、**110,996円**が集まりました。日本赤十字を通して募金する予定です。



今回の台風で亡くなられた方のご冥福と、少しでも早い復興をお祈り申し上げます。

家庭科出前授業

1年生が家庭科授業で、繊維メーカー「ニック」の出前授業を受けました。繊維の特徴を知ること、用途に合わせて衣服を使うことで、地球温暖化対策、消費者としての心構えや、生産者側の責任を学ぶ機会となりました。多くの学びが、地球を救います。



12 つくる責任
つかう責任

